

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ナチュラルこどもハウス鶴見区店		
○保護者評価実施期間		2026年1月26日	~ 2026年2月13日
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	8	(回答者数) 7	
○従業者評価実施期間		2026年1月26日	~ 2026年2月13日
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	4	(回答者数) 4	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月16日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・作品展	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、一つのテーマをもとに、児童一人ひとりが関わりながら、みんなで一つの作品を作り上げています。 作品展当日は、保護者の方にもご来所いただき、心を込めて制作した作品をゆっくりご覧いただける時間を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作過程においても児童一人ひとりの役割や関わりがより感じられるよう、発達段階や特性に応じた関わり方を工夫してまいります。 作品展についても、成長や取り組みの過程がより伝わる機会となるよう、内容や展示方法の工夫を継続して検討してまいります。
2	・児童の特性に応じた集団活動と個別活動	<ul style="list-style-type: none"> 児童一人ひとりの個別支援計画に基づき、集団活動と個別活動をバランスよく取り入れた支援を行っています。 児童一人ひとりが楽しみながら参加できるよう、それぞれの興味・関心を大切にした活動内容を心がけています。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画に基づいた集団活動と個別活動の内容について、より一人ひとりの発達段階や目標に即した設定ができるよう、定期的な見直しを行ってまいります。 児童の興味・関心の変化を丁寧に捉え、活動内容に反映させることで、主体的に参加できる機会をさらに広げていきます。
3	・保護者様との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や週末の電話連絡を通じて、児童の様子を保護者の方へお伝えする機会を設けています。 連絡帳には活動中の写真を掲載するなど、日々の様子がより分かりやすく伝わるよう工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や電話連絡、連絡帳を通じた情報共有について、子どもの成長や変化がより具体的に伝わるよう内容の充実を図ってまいります。 引き続き、保護者の方が安心して相談できる関係づくりを大にし、家庭と連携した支援の充実に努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリーが不十分	<ul style="list-style-type: none"> 玄関から療育室までの動線に階段があるため、車椅子を使用する児童が利用する際の環境整備が十分とは言えない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子を使用する児童の利用も想定し、段差への対応方法や安全な動線の確保について検討を進めてまいります。
2	・保護者様同士の交流の機会	<ul style="list-style-type: none"> 交流会を実施するにあたり、事前準備や当日の対応に必要な時間を確保することが課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流会を円滑に実施できるよう、事前に年間計画を立てて、準備時間を確保しやすい体制づくりを検討してまいります。 職員間で役割分担を明確にすることで、負担の軽減と効率的な準備につなげていきます。
3	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会	<ul style="list-style-type: none"> 保育所や認定こども園、幼稚園、地域の他のこどもとの交流の機会を設けるために、企画や調整、準備に必要な時間の確保が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所や認定こども園、幼稚園、地域の他のこどもとの交流の機会を設けるため、計画的なスケジュール調整や関係機関との連携方法について検討してまいります。 限られた時間の中でも実施できる方法を模索し、無理のない形で交流の機会を広げていきます。